

大雪山国立公園表大雪地域登山道関係者による

情報交換会議事録

日時：平成 24 年 6 月 6 日（水）

13:30～15:00

場所：十勝総合振興局 C 会議室

1、開会（進行：上士幌自然保護官事務所）

2、挨拶（開催経緯：上士幌自然保護官事務所

出席者自己紹介（所属機関および氏名）

確認事項について説明

- ・議事内容は公開とし、後日環境省 HP や大連協 HP など公開する。
- ・公開内容として、意見交換については団体名ではなく、「参加者」として掲載する。

3、情報交換

■各団体からの報告（当日資料 1、2 より）

各団体より今年度の登山道における整備予定箇所、活動予定箇所等の報告が行われた。
（欠席のしほろ自然環境に親しむ会、大雪山 PV の予定は進行にて代読）

十勝西部森林管理署東大雪支署：今まで GSS や協議会などで整備してきましたが、今年度は国有林野事業として登山道（のみ）の整備をやっているか不明であり、活動内容が固まっていないので空欄としていますが、全くやらないわけにはいかないので昨年と同程度の整備していく予定です。

十勝総合振興局：登山道整備はやりませんが、今年度もトイレブースをニペソツ、トムラウシに設置します。高山植物保護キャンペーンとして、今月 23 日にトムラウシ山、ニペソツ山、石狩岳の登山口で利用者にパンフを配って普及啓発します。

鹿追町：鹿追町は然別自然休養林保護管理協議会として資料 4 になりますが、白雲山、天望山のササ刈りを 10 月に予定しています。それから白雲山登山口近くのトイレを今ある場所から登山口近くに移設し、老朽化していたので新しいものに更新しています。

新得町：今年度はトムラウシ山新道を協議会で改善作業していく予定です。

新得山岳会：7 月 7 日に山岳会の定例登山として、トムラウシ山の清掃を行います。

しほろ自然環境に親しむ会（代読）：6 月 25 日に士幌高原ヌプカの里の白雲山登山口～分岐（資料 4）のササ刈りを予定している。

ひがし大雪自然ガイドセンター：資料 3 です。ユニ石狩に通じる十石峠について、上川側が林道通行止めでこちら（上士幌）に流れてくる可能性があるためササ刈りをしてい

ます。峠から南側のハイマツも刈ります。あとシュナイダーコース登山口からイラクサ刈りをする予定です。ニペソツが来年標高年なので観光協会から予算をもらって道標と山頂標識を新しくする予定です。6月中に（各種手続きを）申請して8月設置できればと思います。

大雪山国立公園パークボランティア連絡会（代読）：資料5に年間行事を添付している。東大雪側の登山道整備としては、7月と9月にヒサゴ沼の野営指定地のロープ張り、避難小屋の清掃を予定している。

研究者ネットワーク：研究者ネットワークは組織として何かをやるという予定はないが、山楽舎 BEAR などと一緒に登山道を測量するツアーなどに同行して登山者への普及啓発活動を行う予定。

北海道山岳整備：近自然工法について、環境省の研修会などにアドバイスして一緒に行く。

上士幌自然保護官事務所：環境省の事業を資料6～資料8に添付しており、東大雪は資料8。登山道整備として新得の協議会でトムラウシの新道の泥濘整備を行う。それからトムラウシ温泉登山口～南沼野営指定地合流点までの巡視、軽微な補修を行います。また、石狩岳から沼ノ原までの区間（資料3）について、ササが覆い廃道に近い状態ですが、東大雪と表大雪を結ぶ路線として重要と考えるので今年ササ刈りを行います。

ポレアルフォレスト：単独での整備はしていないが、然別の協議会でササ刈りを実施する時などに役場から声をかけてもらい参加している。

■意見交換

（参加者）：石狩は最後に整備したのはいつ頃ですか。

（上士幌自然保護官事務所）：7年？位前です。

（参加者）：5年前に見たけどかなりひどかった。石狩岳からのハイマツも覆っている。

（上士幌自然保護官事務所）：ハイマツも一緒に今年刈ります。

■作業教本について

北海道地方環境事務所より作業教本の内容などの説明を行う。

（参加者）：カルテのことですが、P15とP46でフォーマットが違ってます。整備を行った者が環境省に報告して情報を蓄積していく必要があると思います。スケッチもデジカメで撮って、カルテをHPに誰でも簡単に投稿できるなど、運用について検討いただきたい。

（北海道地方環境事務所）：まずは環境省で今年度予定している登山道巡視業務などでカルテの活用を試してみ、フォーマットや運用体制について検討していきたい。

(参加者) : P17 に関して、フィスカースという北欧のメーカーのハサミなら、直径 3 センチ位のハイマツの枝なら簡単に伐れるので良い。

(参加者) : 一般の人から、登山道や避難小屋の問い合わせが来るが、環境省の HP で地図と各登山道の情報が分かるような形があれば良いと思う。

(北海道地方環境事務所) : 情報については維持管理団体にも一目で分かるようになったら良いと思うので環境省か大連協 HP かで見せ方を考えたい。

■講習会について

(北海道地方環境事務所) : 昨年表大雪で、2月に屋内講習会を行いました。屋外でも実技を含めてやって欲しいという意見がありましたので、屋外開催について意見などありましたらお願いします。

(参加者) : 是非やってください。場所的にアプローチしやすい白雲山が良い。

(北海道地方環境事務所) : 6/1 の表大雪の情報交換会でも屋外開催の希望が出ましたが、表と別に東大雪でも開催してと考えておりますが、開催場所として環境省の直轄道であるトムラウシを考えておりますが、場所や内容については再度検討します。

(参加者) : 山岳会さんにお聞きしたいんですが、工事した箇所の維持管理をしているんですよね。

(参加者) : 石組みの知識がないので、鉄筋か何かで仮補修しか出来ないかなど。一から石を組む大がかりな石組みの実技を見てみたいとは思いますが、崩れたものを直すには全部ばらして組み直す必要があるみたいで、それを我々ができるものなのか疑問はあります。

(参加者) : 石組みが崩れ始めると、一度石組みを外して設計・施工から全部必要。石組み自体を直すには新たな知識、技術が必要なので1日2日の講習では難しいと思う。

(参加者) : P37 の流水対策は長持ちして簡単。

(参加者) : 丹沢では、塩ビパイプなどの資材を使って排水対策をしており、参考になると思う。また、水切り溝にいたを U の字に設置している所もある。溝を切っただけでは、すぐに埋まってしまうが、板を設置することで葉っぱなどが詰まっても簡単に流しやすい。

(参加者) : P32 の 3 番目の写真は大雪ではなく利尻であるが、施工としては大がかり。

(北海道地方環境事務所) : 大がかりでなく、初期段階で施工できるものなど東大雪でも表大雪と別に講習会を実施したい。日程が決まれば皆様に連絡します。

4. その他

(参加者)：林道通行止めの見通しについて教えてほしい。

(参加者)：ウペペサンケ山への林道は全て通行止めで、現在のところ復旧の見通しは立っていないが、今年度中に1箇所は復旧できると思います。西コースは去年復旧しましたが、また災害で崩れているので現在通れません。一番初めに糠平側から復旧すると思います。

(参加者)：西コースは林道を復旧しても登山道が尾根まで倒木がすごいので通れない。

(参加者)：林道が開けば休養林保護管理協議会で登山道の整備をやっていくことになったので来シーズンは整備を行えると思います。

(参加者)：林道の入口に設置されている入林届ボックスを登山口(石狩岳)に持って行けないでしょうか。現在の場所では誰も記入しない。ニペソツの登山口には観光協会が登山ボックスを設置した。

(参加者)：個人情報の取り扱いが指摘されており、それが整理されれば話が進むと思う。

(参加者)：P23に足の絵が書いた図がありますがこれはどのような意味か。

(参加者)：これは枕木が内側過ぎるケースで、業者が作ってもかなり見られ、シーソーのようになってしまいます。

(参加者)：東大雪では見られないが、夕張では傾斜の所に傾斜のまま木道が設置してあり、滑って転んでしまうこともある。

(参加者)：P26のマーキングを付けすぎた所はどこか？

(上士幌自然保護官事務所)：表大雪の写真です。

(参加者)：トムラウシ公園手前は、マーカを付けすぎだと思うが、パークボランティアが付けたと聞いた。

(上士幌自然保護官事務所)：数年前に実施したところは、マーカが付けすぎのところは全部付けずに飛ばして付けた。

(参加者)：P27のマーカの色ですが、人によって意見はバラバラだと思うが、ガスっても黄色が目立つ訳でもないので、赤で統一できれば良いと思う。

(北海道地方環境事務所)：2月の講習会の時も赤白黄で見え方が皆さんばらばらで個人差があります。

(上士幌自然保護官事務所) : 大雪山全体で色を統一するのは難しいと思うが、山単位では統一できれば良いと思う。

5. 閉会